イメージTEN

Image TEN

QR

イメージTEN（Image Training & Exercise of Neighborhood）とは、災害時に自主防災組織はどのように対応したらよいのかを、実践的に考えるイメージトレーニングプログラムのこと。自主防災組織の役員という設定で参加し、自分の地域、または架空の町を舞台に、与えられる課題・情報について、グループ内で意見を交換し、対応策を考え、災害時の対応をイメージしよう。

イメージTENの進め方

1 グループわけ

参加者のグループわけを行う。1グループあたり6～10人が適当。

2 ゲームの説明

自己紹介をおこない、話しやすい雰囲気をつくる。イメージする対象地域の地図を固定し、地域の施設、がけや河川など地理的条件の確認をおこなう。

3 訓練上の役員・防災資機材の確認

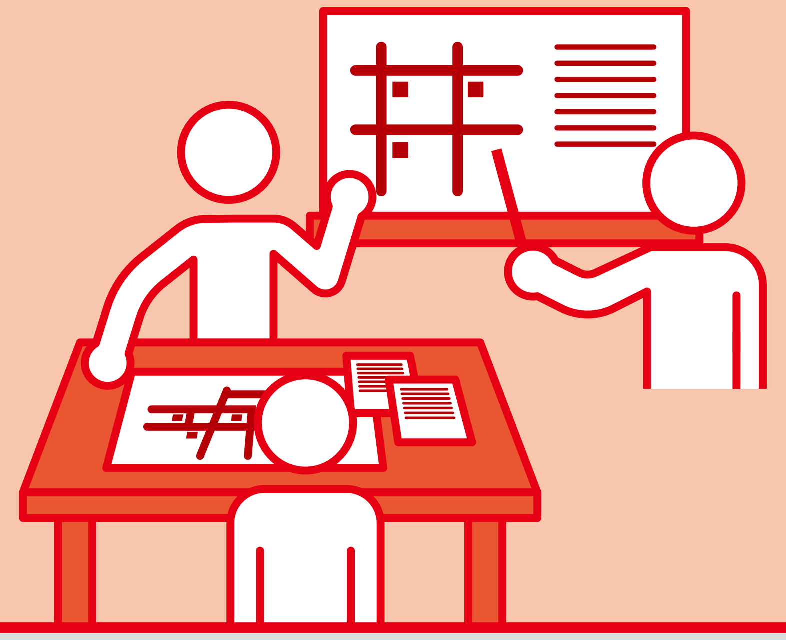
自主防災組織のなかで、役員あるいは情報班・消火班の班員など、グループごとに配役を決める。また、司会進行役を決める。防災資機材になにがあるか、どれだけの量があるかを確認する。

4 地震発生条件の決定

司会進行役は、イメージの前提となる地震の発生条件を決める。「○月○日○曜日の○時に、震度6強の強い揺れが1分以上つづいた。そのときの天候は○○です」などのくじを用意して参加者に引いてもらって決めるのもよい。

5 地震発生後の本部開設

災害対策本部を設置する場所を地図上で選定し、設置する。



6 課題・情報付与

「地域の被災状況がわからない（約15分後）」「B地点で3軒の家屋全壊。住人が生き埋め！（約20分）」など、課題や情報を記載したカード（紙）を司会進行役が配布。1課題あたり5～10分程度で対応策を考え、意見交換をしてもらう。

7 振り返り

訓練が終了したら、災害対応で悩んだこと、疑問、発見、感想などを発表してもらう。